

2 予算案のポイント

(1) 基本方針

最終年度を迎える「しあわせ信州創造プラン 2.0」の総仕上げに向け、その実行計画である「第3期長野県食と農業農村振興計画」の目標達成を最重点に施策を展開します。
加えて、「脱炭素社会の構築」などの県の重点テーマを推進する取組も積極的に進めます。

(2) 重点事項 []内は県の重点テーマ

信州の農業・農村を支える担い手の確保・育成

3 産業・暮らしのコロナ禍からの復興
5 誰一人取り残さない公正な社会づくり

- 本県農業生産を牽引し産地の中核を担う大規模法人を育成するため、新しいビジネスモデルの構築を目指す「信州農業エグゼクティブMBA研修」を新たに実施します。
- 雇用就農からの独立を支援する仕組みを構築し、新たな新規就農の形を確立するとともに、半農半Xなどの農ある暮らし実践者や外国人、障がい者など多様な人材が農業現場で活躍できる環境づくりを進めます。
- 農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、新規就農者が行う経営発展のための機械や施設の導入を支援します。

農業・農村のDX

3 産業・暮らしのコロナ禍からの復興
6 誰もが主体的に学び続けられる社会づくり

- 農村地域全体のDXの構築に向け、ICT等先端技術を活用した機器と生産基盤を一体的に整備するモデル地区の取組を支援します。
- 中山間地域など産地の特性に応じたスマート農業の効果実証と実装の取組を支援します。
- スマート農業の導入を加速化させるため、農業大学校研修部にスマート農業機器を整備し、農業者向けの技術習得研修講座を新たに開設します。

脱炭素社会の構築に向けた農業分野の貢献

4 脱炭素社会の構築

- 環境負荷の軽減となるグリーン栽培体系への転換を推進するため、生分解性マルチ・ネットの活用による農業分野でのプラスチック排出量を抑制する現地実証や、農薬のみに頼らない防除体系の確立への取組を支援します。
- 果樹のせん定枝を炭化し土壌還元するなど、未利用有機物を活用した炭素貯留の取組を支援し普及に繋げます。
- 地域ぐるみで有機農業を推進する市町村やグループの取組を支援するとともに、農産物のエシカル消費につながる地産地消を進めるため、学校での有機給食の取組などを推進します。

災害に強い県土づくりと農業基盤整備

〔 2 災害に強い県づくり 〕

- 豪雨など異常気象や大規模地震などによる災害を未然に防止するため、引き続き排水機場の改修や防災重点農業用ため池の耐震化など災害に強い県土づくりに重点的に取り組みます。
- 流域治水における雨水貯留等の取組を推進するため、ため池などを活用する取組を支援します。

農業競争力の強化

〔 3 産業・暮らしのコロナ禍からの復興 〕

- 新型コロナウイルス感染症の影響から外食需要が大幅に減少し、特に在庫の増大が著しい主食用米について、需要が見込める他品目への転換を進めるとともに、今後更なる拡大が見込める飼料用米への転換や輸出に向けた取組を支援し、水田農業の経営安定を図ります。
- 令和3年度に市場デビューした本県育成の赤系ぶどう「クイーンルージュ®」のブランド化に向け、生産拡大のための栽培管理研修会の開催や品質向上対策等に取り組みます。

豚熱の感染拡大の防止

- 豚熱の感染拡大を防止するため、引き続き飼養豚等へのワクチン接種等に取り組みます。
- 飼養豚等へのワクチン接種に係る手数料の一部を減免し、養豚農家の負担軽減を図ります。